

「マンションメーカー」を目指す

【企画・設計・施工・販売・管理】
母体―山田建設と一貫体制で

小木曾 岸田社長は母体

である山田建設の大学卒の第一期生とうかがっています。

岸田 山田建設は昭和三十

八年に設立され、私が入社した昭和五十一年当時は、注文住宅・ビル建設中心のセネコンでした。しかし、その頃から分譲マンション事業にも進出し始め、その二年後の五十三年には当グループの分譲マンションの自社供給第一号である武蔵小山のマイキャッスル小山(十階、二十八戸)が

岸田

「マンションメーカー」をめざしています。すなわち、土地取得から企画・設計・商品開発・施工・販売・メンテナンス・管理・リフォームと最も重要な要素をすべて自社で

は、その頃から分譲マンション事業にも進出し始め、その二年後の五十三年には当グループの分譲マンションの自社供給第一号である武蔵小山のマイキャッスル小山(十階、二十八戸)が

岸田

「マンションメーカー」をめざしています。すなわち、土地取得から企画・設計・商品開発・施工・販売・メンテナンス・管理・リフォームと最も重要な要素をすべて自社で

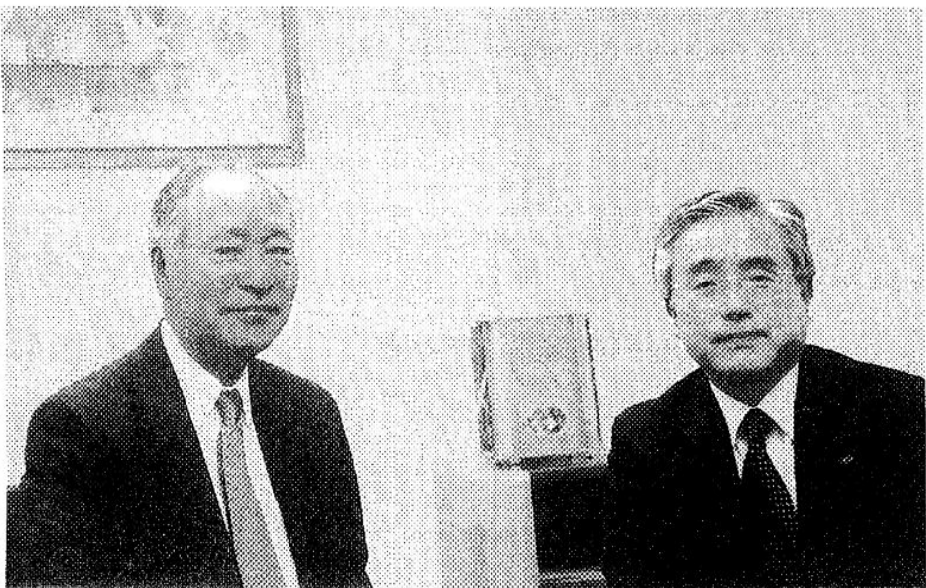
岸田

「マンションメーカー」をめざしています。すなわち、土地取得から企画・設計・商品開発・施工・販売・メンテナンス・管理・リフォームと最も重要な要素をすべて自社で

岸田

小規模マンションにシフト
一管理組合平均三十数戸、390組合

トップ対談

ホスト 有限責任中間法人日本マンション管理協会
理事長 小木曾忠孝氏URL <http://www.nmkk.jp/>ゲスト 株式会社エム・シー・サービス
代表取締役社長 岸田 弘氏

対談する岸田弘氏(右)と小木曾忠孝氏

岸田 山田建設は先ほど述べたように企画・設計では大手デベロッパーに評価されていたものの、特に大

型物件は販売面できびしさがあります。そこで、必然的に小回りがきいて、資金回収が早く、リスクが少な

組合が理事会体制による管理運営を確立しており、フロントがきめ細かくフォローしています。

岸田 投資用のワンルームマンション系です。すでに定着しているところもあるようですが、二十戸、三十戸程度のファミリー系の

小規模マンションでも、販売時から管理会社による管理運営を提案することも近い将来、可能となるのではないのでしょうか。そうなる、販売する側も安易な管理費等の設定はできなくなるはず

岸田 エム・シー・サービスは昭和五十三年に設立された株式会社(株)が前身ですが、当初は賃貸マンション、サブリースの管理を事務的にこなしてしま

岸田 エム・シー・サービスは昭和五十三年に設立された株式会社(株)が前身ですが、当初は賃貸マンション、サブリースの管理を事務的にこなしてしま

岸田 エム・シー・サービスは昭和五十三年に設立された株式会社(株)が前身ですが、当初は賃貸マンション、サブリースの管理を事務的にこなしてしま

岸田 エム・シー・サービスは昭和五十三年に設立された株式会社(株)が前身ですが、当初は賃貸マンション、サブリースの管理を事務的にこなしてしま

岸田 エム・シー・サービスは昭和五十三年に設立された株式会社(株)が前身ですが、当初は賃貸マンション、サブリースの管理を事務的にこなしてしま